

## 取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組05	誰もが暮らしやすい世代循環のまち (Co-housingの考えを取り入れた集落の形成)
②対応する目標・課題	地域の介護・福祉	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標: 共同施設整備数	■目標値: 0件(平成23年度)→1件(平成28年度)
	■評価指標: 健康支援活動実施地区数	■目標値: 0地区(平成23年度)→3地区(平成28年度)
④取組内容	津波被災地域からの防災集団移転により新たに形成される市内主要市街地周辺の集落に、「コ・ハウジング」の考えを取り入れ整備を行う。仮設・借上げ・災害公営住宅及び防災集団移転地域等における訪問、実態把握調査を行い、高齢者の見守り、孤立化対策を行うとともに、コミュニティの形成を図ること等を目的に健康支援活動を展開していく。	
⑤エリア モデル地区		
⑥主体	南相馬市、南相馬市社会福祉協議会	
⑦活用した国等の制度	○住民参加による低炭素都市形成計画策定モデル事業(環境省)	
⑧地域の関与	○まちづくり活動支援事業(南相馬市) ○地域の絆づくり支援事業(南相馬市)	
⑨スケジュール		
23年度	—	
24年度	プラン作成 仮設住宅等での訪問活動及び検証	
25年度	プラン作成 仮設住宅等での訪問活動及び検証、モデル地区における実態把握調査及び健康支援活動	
26年度	<del>プラン作成</del> 共同施設設計(小川町モデル地区) 仮設住宅等での訪問及び健康支援活動、モデル地区における実態把握調査及び健康支援活動	
27年度	共同施設整備設計(小川町モデル地区) 仮設住宅等での訪問及び健康支援活動、モデル地区における実態把握調査及び健康支援活動 まちづくり事業・人材育成事業への補助金の交付	
28年度	共同施設整備(小川町モデル地区) 仮設住宅等での訪問及び健康支援活動、モデル地区における実態把握調査及び健康支援活動 まちづくり事業・人材育成事業への補助金の交付	
29年度以降	在宅高齢者等の訪問及び健康支援活動、モデル地区における実態把握調査及び健康支援活動 まちづくり事業・人材育成事業への補助金の交付	
⑩他の取組との連携	<p>取組名: 再生可能エネルギー基地の整備 連携内容: 市全体のエネルギー利用のスマート化(スマートコミュニティ)を進める方針であり、モデル地区においてはコミュニティ活動の活発化に併せ、電力のスマート化(スマートコミュニティ化)をあわせて進める。</p> <p>取組名: 家庭用太陽光発電設備・HEMSの導入促進 連携内容: 防災集団移転に伴い、移転先集落のエコ化を推進し、省エネ集落を市内に拡大する。各住宅に太陽光発電設備の設置を推進し、HEMSによる見える化などを通じ集落が省エネに取り組めるよう支援する。</p> <p>取組名: 一次産業の再生 連携内容: 生涯現役の仕組みを進めていくために、一定程度の年齢に達しても働ける仕組みが必要と考えている。農業従事者は定年制ではなく、作業内容によっては作業従事が可能のため、連携を図っていく。</p>	
⑪自立・自律の方針・目標	当事業は地域福祉・医療と関係が深い内容であるため、完全自立採算ということにはならないと考えている。良い取組みをモデル地区で生み出し、それを市全域へ展開させたい。	